

前金	部分払
有	1 回

令和3年度営消総継第68号
津市北消防署建築工事

工事場所	津市 栗真中山町 地内					
工 期	420日間					
工事概要	<p>新築 津市北消防署 鉄骨造2階建 延面積1,451㎡ 駐輪場1 鉄骨造平家建 延面積28㎡ 駐輪場2 鉄骨造平家建 延面積28㎡ 外構 ※上記に係る建築工事 一式</p>					
部長	参事	営繕課長	調整・建築営繕担当主幹 検算者	建築営繕担当 照査責任者	担当	設計者
			設備担当 検算者	設備担当 照査責任者	担当	設計者

建築				
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
地業	1	式		
鉄筋	1	式		
コンクリート	1	式		
型枠	1	式		
鉄骨	1	式		
既製コンクリート	1	式		
防水	1	式		
タイル	1	式		
木工	1	式		
屋根及びとい	1	式		
金属	1	式		
左官	1	式		
建具	1	式		
塗装	1	式		
内外装	1	式		
モット及びその他	1	式		
計				

建築					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	既製コンクリート杭	1	式		
地業	表層地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
鉄骨	鋼材費	1	式		
鉄骨	製作費	1	式		
計					
既製コンクリート	外部	1	式		
既製コンクリート	内部	1	式		
計					

建築					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					
タイル	外部	1	式		
タイル	内部	1	式		
計					
木工	内部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミ製建具	1	式		
建具	銅製建具	1	式		
建具	銅製軽量建具	1	式		
建具	シャッター	1	式		

建築					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
建具	オーバースタイナー	1	式		
建具	スライディングウォール	1	式		
建具	トイレブース	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	アコーディオンカーテン	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					
内外装	外部	1	式		
内外装	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	外部	1	式		
ユニット及びその他	内部	1	式		
計					

建築		鉄骨		鋼材費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(鋼材)						
鋼材	BCR295 □-300 x 300 x 19	14.3	t			
鋼材	BCR295 □-300 x 300 x 12	14.7	t			
鋼材	BCR295 □-250 x 250 x 12	3	t			
鋼材	STKR400 □-150 x 150 x 6	1.6	t			
鋼材	STKR400 □-100 x 100 x 3.2	0.1	t			
鋼材	STKR400 □-100 x 100 x 2.3	0.3	t			
鋼材	SS400 H-488 x 300 x 11 x 18	13.7	t			
鋼材	SS400 H-482 x 300 x 11 x 15	9.8	t			
鋼材	SS400 H-440 x 300 x 11 x 18	14.7	t			
鋼材	SS400 H-400 x 200 x 8 x 13	3.2	t			
鋼材	SS400 H-390 x 300 x 10 x 16	18.3	t			
鋼材	SS400 H-350 x 175 x 7 x 11	3.1	t			
鋼材	SS400 H-346 x 174 x 6 x 9	8.5	t			
鋼材	SS400 H-340 x 250 x 9 x 14	0.9	t			
鋼材	SS400 H-300 x 150 x 6.5 x 9	5.2	t			
鋼材	SS400 H-294 x 200 x 8 x 12	2.9	t			
鋼材	SS400 H-250 x 125 x 6 x 9	7.4	t			
鋼材	SS400 H-244 x 175 x 7 x 11	5.1	t			
鋼材	SS400 H-200 x 100 x 5.5 x 8	2.9	t			

建築		鉄骨		鋼材費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼材	SS400 H-175 x 90 x 5 x 8	0.5	t			
鋼材	SS400 H-150 x 150 x 7 x 10	0.2	t			
鋼材	SS400 I-250 x 125 x 7.5 x 12.5	0.3	t			
鋼材	SS400 [-200 x 80 x 7.5 x 11	0.6	t			
鋼材	SS400 [-100 x 50 x 5 x 7.5	0.1	t			
鋼材	SSC400 C-100 x 50 x 20 x 2.3	8.2	t			
鋼材	SS400 L-100 x 100 x 7	0.1	t			
鋼材	SS400 L-65 x 65 x 6	0.2	t			
鋼材	SS400 L-50 x 50 x 6	0.2	t			
鋼材	SS400 L-30 x 30 x 3	0.1	t			
鋼板	SN490C PL-36	0.2	t			
鋼板	SN490C PL-25	0.7	t			
鋼板	SN490C PL-22	1.5	t			
鋼板	SN490C PL-16	1.1	t			
鋼板	SS400 PL-19	1.1	t			
鋼板	SS400 PL-16	0.8	t			
鋼板	SS400 PL-12	9.7	t			
鋼板	SS400 PL-9	11.3	t			
鋼板	SS400 PL-6	0.6	t			
鋼板	SS400 PL-4.5	4.7	t			

建築		鉄骨		鋼材費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板	SS400 ファイバーPL-13	0.1	t			
鋼板	SS400 ファイバーPL-10	0.1	t			
鋼板	SS400 ファイバーPL-3	0.1	t			
高力ボルト	S10T M20-70	1	式			
高力ボルト	S10T M20-65	1	式			
高力ボルト	S10T M20-60	1	式			
高力ボルト	S10T M20-55	1	式			
高力ボルト	S10T M20-50	1	式			
高力ボルト	S10T M20-45	1	式			
高力ボルト	S10T M20-40	1	式			
高力ボルト	S10T M16-45	1	式			
高力ボルト	S10T M16-40	1	式			
高力ボルト	F8T M20-65 (溶解亜鉛メッキ)	1	式			
高力ボルト	F8T M20-60 (溶解亜鉛メッキ)	1	式			
高力ボルト	F8T M20-50 (溶解亜鉛メッキ)	1	式			
高力ボルト	F8T M20-45 (溶解亜鉛メッキ)	1	式			
中ボルト	M12-60 (溶融亜鉛メッキ)	1	式			
中ボルト (スプリングワッシャー)	M12-60 (溶融亜鉛メッキ)	1	式			
ブレース	SNR400B M20 ターナバックスル、羽子板共	1	式			
デッキプレート	H=50、t=1.2 裏面メッキ、エントクロス加工共	14.2	t			

建築		鉄骨		製作費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
工場加工組立費	工作図、溶接共	1	式			
現場組立・建方費		1	式			
鉄骨運搬費		1	式			
錆止め塗装	JIS K5674 1種 工場1回、現場1回	1	式			
溶融亜鉛メッキ	2種HD255	1	式			
高力ボルト締付	S10T、F8T共	1	式			
中ボルト締付		1	式			
アンカーボルト埋込み	取付手間 B種	1	式			
デッキプレート敷込費	焼き抜き栓溶接	1	式			
柱底均しモルタル	B種 t=30 400×200 8か所 350×200 12か所 250×200 1か所	1	式			
露出型弾性固定柱脚	30-19V ベースプレート、アンカーボルト、フレーム 無収縮モルタル、施工費共	21	か所			
露出型弾性固定柱脚	30-12V ベースプレート、アンカーボルト、フレーム 無収縮モルタル、施工費共	9	か所			
露出型弾性固定柱脚	25-12V ベースプレート、アンカーボルト、フレーム 無収縮モルタル、施工費共	5	か所			
超音波探傷試験	第三者機関	1	式			
計						

建築						
		既製コンクリート		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ALCハネ	外壁 フラットハネt100 取付工法A種 取付金物、副資材(耐火材含む)、 シール(PU-2)、設置費共	794	m ²			
定規アングル	SS400 L-50×50×6 1.5t程度	1	式			
土台フラットハネ	SS400 FB-32×4.5 0.2t程度	1	式			
開口補強アングル	SS400 L-65×65×6 60.2kg程度 L-75×75×6 0.6t程度 L-75×75×9 3.6t程度	1	式			
スクラップ 控除		1	式			
計						

建築		防水			外部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
合成高分子系 ルーフィングシート防水 (平場)	塩化ビニル樹脂 t2.0 S-M2 歩行用 固定金物、入隅鋼板、シール材共	522	m ²			
合成高分子系 ルーフィングシート防水 (立上り)	塩化ビニル樹脂 t2.0 S-F2 シール材共	88.1	m ²			
塗膜防水	ウレタン系 平場 X-2工法	47.9	m ²			
塗膜防水	ウレタン系 立上り X-2工法	5.2	m ²			
シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 15×10	515	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	309	m			
防水押え金物	アルミ製 シート防水用	114	m			
養生用シート防水	ゴム製 t2.0	33.5	m ²			
横引きドレン	鋳鉄製 シート防水用 径100用	10	か所			
中継ドレン	鋳鉄製 塗膜防水用 径100用	4	か所			
計						

建築		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床 際根太	杉 40 x 45	105	m			
床 耐水合板	t=15	75.9	m ²			
床 合板	t=12	2.1	m ²			
床 縁甲板	ヒノキ 上小節 t=15	2.1	m ²			
壁 耐水合板	t=12	28.5	m ²			
上り框	桧集成材 40 x 200	3.9	m			
上り框	桧集成材 95 x 200	2.2	m			
畳寄せ	米ツガ 40 x 20	17.1	m			
雑巾摺	米ツガ 15 x 10	3.6	m			
受付カウンター	桧集成材 t=30 3,850 x 900 補強板、下枠共	1	か所			
梁型天端笠木	桧集成材 510 x 25	6	m			
手すり笠木	桧集成材 115 x 25	13.9	m			
壁 見切り	杉 110 x 25	10	m			
三方枠	杉 135 x 25	4.9	m			
三方枠	杉 110 x 25	55	m			
WD-1 木製建具枠	W850 x H2,000 杉 110 x 25	12	か所			
WD-2 木製建具枠	W830 x H2,000 杉 110 x 25	2	か所			
WD-3 木製建具枠	W825 x H2,000 杉 110 x 25	1	か所			
WD-4 木製建具枠	W800 x H2,000 杉 110 x 25	1	か所			
WD-5 木製建具枠	W1,848 x H2,000 杉 110 x 25	1	か所			

建築		屋根及びとい		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<車庫屋根>						
折板葺き	カラーGL鋼板 t0.8 H160 馳式 ポリチレンフォームt=4 裏貼り共	381	m ²			
タイトフレーム	メッキ品 H160	170	m			
水上面戸	カラーGL鋼板 t=0.4	33.9	m			
水下面戸	カラーGL鋼板 t=0.4	33.9	m			
軒先水切り	カラーGL鋼板 t=0.4	33.9	m			
水上水切り	カラーGL鋼板 t=0.4	33.9	m			
ケラバ 水切り	カラーGL鋼板 t=0.4	22.6	m			
軒樋	カラー塩ビ製 角型 200×165 折板吊り金物共	33.9	m			
自在ドレン	カラー塩ビ製 φ100用	5	か所			
<庇屋根>						
折板葺き	カラーGL鋼板 t=0.4 縦馳	112	m ²			
防水シート	ゴムアスシート t=1.2	112	m ²			
耐火野地板	t=18	152	m ²			
軒先水切	カラーGL鋼板 t=0.4	79.8	m			
ケラバ 水切	カラーGL鋼板 t=0.4	5.6	m			
壁際水切	カラーGL鋼板 t=0.5	79.8	m			
庇内樋	耐酸被覆鋼板 t=0.4 w300	79.8	m			
縦引ドレン	カラー塩ビ製 径100用 キャップ共	8	か所			
中継ドレン	カラー塩ビ製 径100用 キャップ共	4	か所			

建築						
		屋根及びとい			外部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
庇、袖壁、幕板 (上段)	カラーGL鋼板 t=0.5 380x200 スチール角パイプ 下地共	95.2	m			
庇、袖壁、幕板 (下段)	カラーGL鋼板 t=0.5 235x165 スチール角パイプ 下地共	86.5	m			
<その他>						
外壁水切り	カラーGL鋼板 t=0.5	8.9	m			
アルミ製たてとい	バンドレス仕様 φ114 チーズ 共	24	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径100 エルボ、ステンレス製挿み金物共	99.9	m			
集水器	硬質ポリ塩化ビニル管継手(カラー) φ100用 チーズ 付 接続管共	10	か所			
計						

建築		金属		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
笠木	カーアルミ製 W300	100	m			
笠木コーナー	カーアルミ製 W300	4	か所			
笠木	カーアルミ製 W150	45	m			
笠木コーナー	カーアルミ製 W150	1	か所			
庇	カーアルミ製 W3500 x D900 貫通ボルト M10@200共	1	か所			
庇	カーアルミ製 W1500 x D900 貫通ボルト M10@200共	2	か所			
階段滑り止め	SUS製 W35	48.5	m			
屋外階段手摺	溶融亜鉛メッキ仕上げ 支柱、上下弦材 FB-50 x 9 手摺子 13φ@100	53.2	m			
屋外階段補助手摺	溶融亜鉛メッキ仕上げ 34φ、GPL-9、中ボルト共	53.2	m			
管理用扉	溶融亜鉛メッキ仕上げ 支柱 □-100 x 100 x 4.5 枠材 FB-50 x 9 格子 φ13@100 パンチング板、レバーハンドル、 アンカーボルト、取付金物共	1	か所			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし @300 インサート含む	139	m ²			
天井廻縁	アルミ製	138	m			
バルコニー手摺	溶融亜鉛メッキ仕上げ 支柱、FB-75 x 9 上下弦材 L-75x75x6 GPL-9、2-M16HTB	34.4	m			
有孔折板	フォーシグナル製有孔折板H68 (開口率50%) 100mmスパン張り	58.3	m ²			
タラップ	SUS製 W400 x H2650 支柱25φ ステップ22φ FB-6×50 SUS製M12-L165	2	か所			
グレーチング溝蓋	SUS製HL 細目 W150 ノンスリップ、ゴム付	1.8	m			
二段手摺	SUS製HL 手摺φ34、手摺子φ22 W4,000×H850～650	1	か所			
計						

建築		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	659	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	180	m ²			
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りなし @300	345	m ²			
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りあり @450	222	m ²			
軽量鉄骨壁下地 開口補強	65形、90形	1	式			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	657	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	254	m ²			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300~500程度	22.4	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	38	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)	1	式			
グレーチング溝蓋	SUS製HL 細目 W150 ノンスリップ、ゴム付	3.8	m			
グレーチング排水樹蓋	SUS製HL 細目 500角 ノンスリップ	1	か所			
階段滑り止め	SUS製HL ゴムタイプ入り W35	63.7	m			
床見切	SUS製HLt1.5 W30×H50	1.4	m			
床上框	SUS製HLt1.5 W30 H110	0.8	m			
床目地棒	SUS製HL	13.6	m			
水返しアンクル	SUS製HL L-3×30 取付溶接共	41.8	m			
巾木	SUS製HL H60	43.9	m			
階段手摺	スチール製 支柱、上下弦材 FB-50x9 手摺子 φ12@110 中ボルトM12	5	m			
フック手摺 (手摺子付)	塩ビ製、φ34、GPL-9 中ボルトM12	5	m			

建築		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ﾌﾞﾗｯｸﾞｯﾄ手摺 (壁付)	塩ビ製、φ34、ﾌﾞﾗｽﾞ製ﾌﾞﾗｯｸﾞｯﾄ共	16.1	m			
懸垂棒	SUS製HL φ34 W1000×H500 両端部半球ｷｯﾌﾟ 仕様、取付金物共	1	か所			
面台	SUS製HL W150 t20	2.9	m			
ｽﾃﾝﾚｽ手洗い	W1,000×D450 t1.5 HL 木下地共	1	か所			
カーテンレール	SUS製ｼﾝｸﾞﾙ	1.8	m			
計						

建築						
		左官		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
複層塗材 E	ALC [®] 祓面 凹凸模様 吹付け 水系珪素 つやあり 下塗1回・主材 塗2回・上塗2回 下地調整 (C-1) 共	794	m ²			
打放し面保護塗料	高耐候性水性珪素樹脂クリア吹付け	61.2	m ²			
可とう性外装薄塗材E	コテ塗 下地調整共	93.5	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	570	m ²			
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅150	164	m			
バルコニー床モルタル塗	金ごて 防水下地	39.5	m ²			
バルコニー立上モルタル塗	金ごて 防水下地	28.8	m			
バルコニー立上天端モルタル塗	金ごて 防水下地 W100	28.8	m			
バルコニー立上排水溝モルタル塗	金ごて 防水下地 W100	28.8	m			
床コンクリート直均し仕上げ	木ごて タイル下地	14.4	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	49.8	m ²			
基礎立上り天端モルタル塗り	金ごて W120	135	m			
花壇立上り天端直均し仕上	金ごて W150	24.8	m			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	61.2	m ²			
建具周囲防水モルタル充填	外部建具	382	m			
計						

建築						
		左官		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
複層塗材 CE	ALC [®] 祢面 凹凸模様 吹付け 水系珪素 つやあり 下塗1回・主材 塗2回・上塗2回 下地調整 (C-1) 共	401	m ²			
セルフレベリング [®]	セメント系 厚15	350	m ²			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	413	m ²			
床モルタル塗り	金ごて フォーリング [®] 系下地	33.8	m ²			
床モルタル塗り	金ごて ビニール系床材下地	311	m ²			
床モルタル塗り	金ごて 塗床仕上下地	16.7	m ²			
床モルタル塗り	木ごて 一般タイル下地	7.6	m ²			
階段モルタル塗り	金ごて ビニール系床材下地	26	m ²			
防水モルタル塗 (排水用柵・釜場 ・足洗い)	金ごて 厚30	2.7	m ²			
防水モルタル塗 (排水溝)	金ごて 厚30	3.8	m			
足洗い壁 モルタル塗り	木ごて タイル下地 厚15	2	m ²			
足洗い壁 モルタル塗り	金ごて 厚20	1	m ²			
建具周囲 モルタル充填	内部建具	73	m			
巾木打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	16.5	m ²			
可とう性外装薄塗 材E	コテ塗 下地調整共	52.8	m ²			
カッター目地切	3,000mm以内	259	m			
計						

建築		建具		アルミニウム製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AD-1	W3,810 x H2,935、自動ドア装置、電子錠、衝突防止SUSｼｰﾙ共	1	か所			
AD-2	W3,810 x H2,660、自動ドア装置、衝突防止SUSｼｰﾙ共	1	か所			
AD-3	W2,300 x H2,660、電子錠共	1	か所			
AD-4	W850 x H2,660	1	か所			
AD-5	W900 x H2,000、電子錠共	1	か所			
AD-6	W1,100 x H2,460、電子錠共	1	か所			
AD-7	W850 x H2,460	1	か所			
AW-1	W7,340 x H2,960	1	か所			
AW-2	W7,340 x H2,890	1	か所			
AW-3	W3,500 x H1,660	3	か所			
AW-4	W2,900 x H1,660	1	か所			
AW-5	W1,100 x H1,660	1	か所			
AW-6	W500 x H1,660	2	か所			
AW-7	W1,100 x H1,660	1	か所			
AW-7A	W1,100 x H1,660 防火設備	1	か所			
AW-8	W500 x H1,660	2	か所			
AW-9	W1,700 x H600 オペレーター装置共	4	か所			
AW-10	W4,100 x H1,660	1	か所			
AW-11	W2,300 x H1,660	1	か所			
AW-12	W1,100 x H1,460	9	か所			

建築						
		建具		アルミニウム製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AW-12A	W1,100 x H1,460 防火設備	1	か所			
AW-13	W1,100 x H1,460	2	か所			
AW-14	W1,700 x H1,460	3	か所			
AW-15	W1,100 x H400	2	か所			
AW-16	W800 x H400 ホッケー装置共	1	か所			
AW-17	W500 x H400 ホッケー装置共	1	か所			
運搬、取付け		1	式			
計						

建築		建具			鋼製建具		備考
名称	摘要	数量	単位	単価	金額		
SD-1	W1,690 x H2,000 電子錠共	1	か所				
SD-2	W1,690 x H2,000 特定防火設備 電子錠共	1	か所				
SD-3	W800 x H2,000 特定防火設備 電子錠共	1	か所				
SD-4	W800 x H2,000 特定防火設備	1	か所				
SD-5	W1,690 x H2,000 特定防火設備	2	か所				
PSD-1	W600 x H600	4	か所				
運搬、取付け		1	式				
計							

建築		建具		鋼製軽量建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
LSD-1	W850 x H2, 000	1	か所			
LSD-2	W850 x H2, 000	1	か所			
LSD-3	W800 x H2, 000	1	か所			
LSD-4	W1, 700 x H2, 000	1	か所			
LSD-5	W1, 200 x H2, 000	1	か所			
LSD-6	W850 x H2, 000	1	か所			
LSD-7	W850 x H2, 000	3	か所			
LSD-8	W850 x H2, 000	2	か所			
HD-1	W1, 400 x H2, 000 壁収納タイプ	2	か所			
HD-2	W1, 000 x H2, 000 壁収納タイプ	11	か所			
HD-2A	W1, 000 x H2, 000 壁収納タイプ	1	か所			
HD-3	W1, 000 x H2, 000 壁収納タイプ	1	か所			
HD-4	W1, 000 x H2, 000 壁収納タイプ	6	か所			
運搬、取付け		1	式			
計						

建築		建具		オーバースライダー		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
OS-1	W7,100 x H4,000、手動式	2	か所			
OS-2	W6,500 x H4,000、手動式	3	か所			
OS-3	W2,900 x H4,000、手動式	1	か所			
OS-4	W2,900 x H2,500、手動式	1	か所			
運搬、取付け		1	式			
計						

建築		建具		スライディングウォール		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SLW-1A	W6,758 x H2,700	1	か所			
SLW-1B	W6,758 x H2,700	1	か所			
運搬、取付け		1	式			
計						

建築		建具		トイレベース		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
TB-1	W750 x H2, 500	5	か所			
TB-2	W(4, 305+900 x 2) x H2, 500	1	か所			
TB-3	W(4, 305+900 x 2) x H2, 500	1	か所			
TB-4	W(1, 670+900) x H2, 500	1	か所			
TB-5	W(4, 255+900 x 2) x H2, 500	1	か所			
TB-6	W1, 655 x H2, 500	1	か所			
TB-7	W1, 885 x H2, 500	1	か所			
運搬、取付け		1	式			
計						

建築		建具			ガラス		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考	
網入磨き板ガラス	厚さ 6.8mm 特寸 4.45㎡以下	3.7	㎡				
強化ガラス	厚さ 4mm 平面 2.0㎡以下	2.8	㎡				
強化ガラス	厚さ 5mm 特寸 2.0㎡以下	88.8	㎡				
強化ガラス	厚さ 6mm 特寸 4.0㎡以下	8.7	㎡				
型板強化ガラス	厚さ 4mm 平面 2.0㎡以下	3.7	㎡				
強化複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸 4.0㎡以下	34.4	㎡				
強化複層ガラス	FL4+A6+FL4 特寸 4.0㎡以下	6.8	㎡				
ガラスとめ(シーリング)	シリコン 1成分形 SR-1	1,238	m				
計							

建築		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E P 塗り	ポ-ト面 工程B種(一般) 素地A種共	156	m ²			
E P-G 塗り	ポ-ト面 工程B種(見上) 素地A種共	17.4	m ²			
E P-G 塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 素地B種共	180	m ²			
E P-G 塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(見上) 素地B種共	115	m ²			
S O P 塗り	鋼製建具面 塗料1種 錆止現場2回目共	39.4	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	鋼製建具面細物 塗料1種 錆止現場2回目共	187	m			
S O P 塗り	鉄鋼面 工程B種 塗料1種	478	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程B種	62.9	m			
C L 塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種 素地A種共	52.5	m			
C L 塗り	木部 工程A種 素地A種共	28.6	m ²			
W P 塗り (糸幅300mm以下)	木製建具面 工程B種 素地A種共	97.2	m			
計						

建築		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ビニル床シート	厚2.5 マーブル 織布積層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	552	m ²			
階段ビニル床シート	厚2.5 マーブル 織布積層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	60	m ²			
床タイルカーペット	厚6.5 1種 帯電防止仕様	189	m ²			
OAフロア	超高強度軽量コンクリート製 H29 5000N ボート共	74.1	m ²			
OAフロア	超高強度軽量コンクリート製 H40 5000N ボート共	115	m ²			
グリーンフロア	グラ束 Pb _t =20 FL+150/H200 2900N ボート共	74.3	m ²			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT-III 一畳	23.4	m ²			
複合フローリング	ナラ 直張り 厚12.0 耐摩耗 表面単板 厚2.0 塗装品	33.8	m ²			
エポキシ系塗床	防塵 耐薬品 耐衝撃 耐摩耗 薄膜流し展べ工法 厚1.0	100	m ²			
エポキシ系塗床	防滑仕上げ 薄膜流し展べ工法 厚1.2	16.7	m ²			
ビニル幅木	H60	661	m			
ビニル幅木	H300	7.7	m			
壁 ビニルクロス張り	中級品 ボート面、不燃、準不燃共	1,260	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 継目処理	1,368	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 継目処理	60	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 下地張り	352	m ²			
壁 強化せっこう ボード張り(GB-F)	厚21.0 不燃 片面二重張り 継目処理	5.8	m ²			
壁 けい酸 カルシウム板張り	厚8.0 不燃 突付け	180	m ²			
壁 化粧ケイ酸板	厚6.0 不燃 シール共	385	m ²			
壁 グラスウール充填	t100 24K	399	m ²			

建築						
		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁 グラスウール充填	t50 24K	236	m ²			
壁 防火区画	厚12.5 (PB) +厚12.5 (PB) 不燃 継目処理	144	m ²			
壁 防火区画	厚12.5 (耐水PB) +厚12.5 (PB) 不燃 突付け	64.3	m ²			
壁 耐火間仕切	厚21 (強化PB) +厚21 (強化PB) 不燃、継目処理	5	m ²			
壁 耐火シーリング	防火区画、耐火間仕切り 四周処理	168	m			
天井 ビニルクロス張り (木目調)	中級品 ホート面、準不燃共	27.8	m ²			
梁型 ビニルクロス張り	中級品 ホート面、準不燃共	5.9	m ²			
天井 せっこうホート張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 継目処理	45	m ²			
天井 化粧 せっこうホート張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トリバーチン 突付け	490	m ²			
天井 ロックウール化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	254	m ²			
天井 けい酸カルシウム板張り	タイプ 2(ソシア)0.8FK 厚 6 突付け	128	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	923	m			
下り壁見切縁	アルミ製	22.4	m			
壁見切縁	アルミ製	5.4	m			
面台	メラミンボ ストフォーム W150 t20 L=6,000	1	か所			
面台	メラミンボ ストフォーム W150 t20 L=700	1	か所			
面台	メラミンボ ストフォーム W150 t20 L=900	2	か所			
面台	メラミンボ ストフォーム W150 t20 L=950	4	か所			
面台	メラミンボ ストフォーム W150 t20 L=1,800	3	か所			
面台	メラミンボ ストフォーム W150 t20 L=2,300	1	か所			

建築		ユニット及びその他		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
懸垂幕昇降装置	SUS製W1500×H6500 強風地域仕様、静音タイプ、幕ハメ付 取付金物、運搬費、据付費共	1	か所			
地震時自動解錠防災ボックス	SUS製 W400×H530×D200 壁掛式屋外型	1	か所			
アンテナ設置用ポール	亜鉛メッキ処理の上樹脂コーティング φ190.7×t5.3 H=2650、 B.PL-22×300×300、 足場ワレット、天端フタ、無収縮モルタル、 アンカーボルト、運搬費、設置費共	4	か所			
屋上メッシュフェンス	H1200 90.5m程度 門扉H1200 4箇所 (戸当り両面回転施錠、南京錠共) 照明器具設置用支柱H3000 6箇所、 組立費共	1	式			
屋上メッシュフェンス 下部隙間防止 アングル	メッキ品 L1350、L1200 アンカー固定、留め金具共 54箇所、組立費共	1	式			
屋上メッシュフェンス基礎	650x650xH300 37箇所 1650x550xH300 4箇所	1	式			
消火器	ABC10型	6	か所			
消火器収納箱	スチール製 10型1本用 600×235×170	6	か所			
ハト小屋	本体・フタ ウレタン樹脂塗布 ビーズ法ポリスチレンフォーム製 740×740×H780	1	個			
館名文字	カーステンレス 箱文字 250角×D20 TSU FIRE DEPT.	1	式			
館名文字	カーステンレス 箱文字 200角×D20 津市北消防署 津方面団栗真分団	1	式			
計						

建築		ユニット及びその他		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
窓下棚 (WK-1a)	木製 W1955*D450*H960	2	台			
窓下棚 (WK-1b)	木製 W1915*D450*H960	1	台			
窓下棚 (WK-1c)	木製 W1800*D450*H960	1	台			
窓下棚 (WK-1d)	木製 W1650*D450*H960	3	台			
窓下棚 (WK-1e)	木製 W1485*D450*H960	3	台			
書棚	木製 W1900*D450*H2000	2	台			
カウンター	木製 W1800*D450*H960	3	台			
防火衣,ヘルメット掛棚	木製 W600*D400 フック10ヶ付	1	台			
収納付木製ヘッド	木製 W2330*D1010*H850	12	台			
更衣ロッカー	木製 W800*D600*H1800	13	台			
脱衣棚 (W1710)	木製 W1710*D550*H1360	1	台			
脱衣棚 (W900)	木製 W900*D550*H1360	1	台			
個人ロッカー	木製 W1650*D450*H2125	1	台			
個人ロッカー	木製 W925*D450*H2125	2	台			
収納棚	木製 W735*D450*H1360	1	台			
リネン棚	木製 W900*D800*H2000	8	台			
防火衣ロッカー	スチール製 W850*D800*H2700	14	台			
救急ロッカー	スチール製 W776*D650*H2000	1	台			
二槽シンク	SUS製 W1200*D600*H800	1	台			
作業台	SUS製 W900*D600*H800	1	台			

建築		ユニット及びその他			内部	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
白衣ロッカー	スチール製 W455*D515*H1790	2	台			
鍵付き収納棚 (上段)	スチール製 W900*D450*H692	2	台			
鍵付き収納棚 (中段)	スチール製 W900*D450*H1038	2	台			
鍵付き収納棚 (下段)	スチール製 W900*D427*H346	2	台			
鍵付き収納棚 (ベース)	スチール製 W900*D427*H60	2	台			
ガス台	SUS製 W900*D600*H650	1	台			
シンク	SUS製 W1000*D600*H800	1	台			
作業台	SUS製 W1800*D600*H800	1	台			
作業台	SUS製 W1000*D600*H800	1	台			
ホース棚	スチール製 W1200*D600*H1800	3	台			
ホーンベ収納棚	スチール製 W1200*D600*H1800	1	台			
資機材収納棚	スチール製 W1855*D621*H1800	1	台			
ダイヤ棚	スチール製 W1950*D800*H1800	3	台			
スチール中量ラック (単体)	W1200*D467*H1800	2	台			
スチール中量ラック (単体)	W1200*D750*H1800	2	台			
スチール中量ラック (単体)	W900*D467*H1800	1	台			
スチール中量ラック (単体)	W1200*D600*H1800	6	台			
スチール中量ラック (単体)	W1800*D600*H1800	10	台			
スチール中量ラック (単体)	W1800*D467*H1800	1	台			
スチール中量ラック (連増)	W1800*D750*H1800	4	台			

建築		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スチール中量ラック (連増)	W1800*D467*H1800	2	台			
スチール中量ラック (連増)	W1800*D600*H1800	13	台			
スチール中量ラック (連増)	W1200*D600*H1800	2	台			
ユニットシャワー (UN-1)	0808タイプ	1	か所			
システムキッチン (UN-2)	W1800タイプ 流し台、吊戸棚、レンジフード	2	か所			
ユニットバス (UN-3)	1620タイプ	1	か所			
ユニットシャワー (UN-4)	0812タイプ	2	か所			
ユニットバス (UN-5)	1616タイプ	1	か所			
横型ガラスライント (AD-3 扉)	W900 x H2,660	1	か所			
横型ガラスライント (AD-3 窓)	W1,400 x H1,660	1	か所			
横型ガラスライント (AW-3)	W3,500 x H1,660	3	か所			
横型ガラスライント (AW-4)	W2,900 x H1,660	1	か所			
横型ガラスライント (AW-5)	W1,100 x H1,660	1	か所			
横型ガラスライント (AW-7)	W1,100 x H1,660	2	か所			
横型ガラスライント (AW-10)	W4,100 x H1,660	1	か所			
横型ガラスライント (AW-11)	W2,300 x H1,660	1	か所			
横型ガラスライント (AW-12)	W1,100 x H1,460	10	か所			
横型ガラスライント (AW-13)	W1,100 x H1,460	2	か所			
横型ガラスライント (AW-14)	W1,700 x H1,460	3	か所			
横型ガラスライント (AW-16)	W800 x H400	1	か所			

建築		ユニット及びその他		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
消火器	ABC10型	12	か所			
消火器BOX	埋込型	5	か所			
映写スクリーン	スクリーン手動式 2400×1800 ボックス一体型	1	か所			
手押しトリ付ホイス	定格荷重1.0t、巻上速度5.5m/min 運搬費、取付費共	1	か所			
仮眠室用室名札 (S-5)	基板 アルミ製アルマイト仕上、表示 UV印刷 214×132、アクリル板加工t1.5、 スライド可変表示t2.0	13	か所			
カッティングシート文字 (S-6)	H=30	13	か所			
室名札 (S-3)	254×80 基板 アルミ型材 アルマイト仕上 表示 カッティングシート	22	か所			
ビュート室外名札 (S-4)	150×150 基板 アルミ型材 アルマイト仕上 表示 カッティングシート	8	か所			
危険物標識 (S-7)	600×300 鉄板製 表示 カッティングシート	3	か所			
掲示板	W1200×H900	1	か所			
掲示板	W1800×H900	1	か所			
行専用ホイトポート	W1800×H900	2	か所			
ホイトポート	W3600×H1500	1	か所			
計						

外構						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
解体		1		式		
外構		1		式		
	計					

外構					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
解体	撤去	1	式		
解体	発生材処分	1	式		
計					
外構	囲障	1	式		
外構	舗装	1	式		
外構	屋外排水	1	式		
外構	植栽	1	式		
外構	附帯構造	1	式		
外構	キュービクル基礎	1	式		
外構	既存発電機基礎	1	式		
外構	自家発電、燃料小出槽基礎	1	式		
外構	受水槽、ポンプ室基礎	1	式		
外構	プロパン庫基礎	1	式		
外構	地下タンク	1	式		
外構	駐輪場	1	式		
外構	その他工作物	1	式		
外構	塵芥処理工	1	式		
外構	場内整地	1	式		
計					

外構		解体		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
カッター入れ	アスファルト舗装面 L=24,890程度 タイル舗装面 L=4,810 程度	1	式			
駐輪場解体	鉄骨造 延面積34㎡、積込共	1	式			
駐輪場基礎解体	3.5㎡程度、敷均し共 積込共	1	式			
タイル舗装撤去	12.4㎡程度 モルタル、土間砂、碎石、 積込共	1	式			
アスファルト舗装撤去	0.6㎡程度 積込共	1	式			
側溝、縁石撤去	側溝w240 L=19,580 0.78㎡程度 側溝w300 L=19,580 0.78㎡程度 縁石w150 L=24,390 0.73㎡程度 コンクリート蓋、敷モルタル、積込共	1	式			
看板一時撤去	w750×H2,100 一箇所 基礎共	1	式			
車止めバリアー一時撤去	φ100×H1,200 一箇所 基礎共	1	式			
進入防止柵撤去	木杭H=1,200 L=93m 積込共	1	式			
計						

外構		外構		附帯構造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<洗車場>						
盛土(A種)	山砂の類	34.1	m ³			
型枠運搬費		1	式			
カッター目地切	3,000mm以内	17.6	m			
地先境界ブロック	120×120 砕石、捨コン、敷モルタル共	6	m			
<ホース乾燥塔>						
根切り	つぼ、布掘り 深さ2.5m程度	16.3	m ³			
床付け	つぼ、布掘り	7.2	m ²			
砂利地業	再生クワッシュン	1.8	m ³			
鋼製杭	φ165.2 L=4.0m STK400 先端φ400	4	セット			
杭施工費	回転杭工法 管ワ・取付金具、重機運送費、 現場管理費	1	式			
杭頭補強筋	SD265A 4-D13 16箇所	1	式			
異形棒鋼	SD295A D13	0.2	t			
異形棒鋼	SD295A D16	0.3	t			
鉄筋加工組立費	運搬費、スクラップ 控除共	1	式			
捨てコンクリート	Fc18 S15	0.6	m ³			
土間コンクリート	Fc21 S18	1	m ³			
基礎コンクリート	Fc24+S S18	5.5	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			
普通合板型枠	基礎部	11.8	m ²			

外構		外構		附帯構造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠運搬費		1	式			
鋼材	SS400 H-350 x 175 x 7 x 11	1.1	t			
鋼板	SS400 PL-32	0.1	t			
鋼板	SS400 PL-9	0.2	t			
ブレース	SNR400B M16 ターボナット、羽子板共	1	式			
高力ボルト	F8T M20-50 (溶解亜鉛めっき)	1	式			
高力ボルト	F8T M16-40 (溶解亜鉛めっき)	1	式			
アンカーボルト	SS400 M32 L1300	1	式			
工場加工組立費	工作図、溶接共	1	式			
現場組立・建方費		1	式			
鉄骨運搬費		1	式			
溶融亜鉛メッキ	2種HDZ55	1	式			
高力ボルト締付	F8T	1	式			
アンカーボルト埋込み	取付手間 B種	1	式			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	5.8	m ²			
ホース乾燥塔	フレーム：溶融亜鉛メッキ仕W1200×H11600 電動巻取式 昇降体：10本掛け用(SUS製HL) 昇降速度：12.8m/min 昇降行程：9500mm、全高：11600mm 操作方式：2点押ボタン式、安全装置 SUS製防雨カバー付き巻上器、SUS製操作箱、ソレシフ、ソレカバー-SUS製、 取付金物、運搬費、据付費共	1	か所			
計						

外構		外構		キュービクル基礎		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盛土(A種)	山砂の類	0.4	m ³			
砂利地業	再生クワツヤラン	1	m ³			
捨てコンクリート	Fc18 S15	0.5	m ³			
躯体コンクリート	Fc21+S S18	4.9	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			
普通合板型枠	基礎部	6.4	m ²			
面木	面幅30mm程度	12.8	m			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D13	0.2	t			
鉄筋加工組立費	運搬費、スクラップ控除共	1	式			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	3.2	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	9.8	m ²			
計						

外構		外構		既存発電機基礎		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
盛土(A種)	山砂の類	0.1	m ³			
砂利地業	再生クワツヤラン	0.2	m ³			
捨てコンクリート	Fc18 S15	0.1	m ³			
躯体コンクリート	Fc21+S S18	1.1	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			
普通合板型枠	基礎部	3	m ²			
面木	面幅30mm程度	7	m			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D13	0.1	t			
鉄筋加工組立費	運搬費、スクラップ控除共	1	式			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	1.5	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	2.2	m ²			
計						

外構		外構	自家発電、燃料小出槽基礎			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盛土(A種)	山砂の類	0.5	m ³			
砂利地業	再生クワツヤラン	2.2	m ³			
捨てコンクリート	Fc18 S15	1.1	m ³			
躯体コンクリート	Fc21+S S18	10.8	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			
普通合板型枠	基礎部	10.7	m ²			
面木	面幅30mm程度	22.4	m			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D13	0.4	t			
鉄筋加工組立費	運搬費、スクラップ控除共	1	式			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	5.4	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	21.6	m ²			
計						

外構		外構		受水槽、ポンプ室基礎		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
盛土(A種)	山砂の類	0.6	m ³			
砂利地業	再生クワッシャー	0.8	m ³			
捨てコンクリート	Fc18 S15	0.4	m ³			
躯体コンクリート	Fc21+S S18	4.1	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			
普通合板型枠	基礎部	9.2	m ²			
面木	面幅30mm程度	18.1	m			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D13	0.2	t			
鉄筋加工組立費	運搬費、スクラップ控除共	1	式			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	7.1	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	7	m ²			
計						

外構		外構		フロン庫基礎		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
盛土(A種)	山砂の類	0.7	m ³			
砂利地業	再生クワツヤラン	0.3	m ³			
捨てコンクリート	Fc18 S15	0.2	m ³			
躯体コンクリート	Fc21+S S18	0.6	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			
普通合板型枠	基礎部	1.4	m ²			
面木	面幅30mm程度	7.4	m			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D13 35.7kg	1	式			
鉄筋加工組立費	運搬費、スクラップ控除共	1	式			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	0.7	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	3	m ²			
計						

外構		外構		地下タンク		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<躯体>						
床付け	つば,布掘り	8.2	m ²			
埋戻し(A種)	山砂の類	189	m ³			
砂利地業	再生クワッシュ	1.2	m ³			
捨てコンクリート	Fc18 S15	0.4	m ³			
躯体コンクリート	Fc24+S S18	7.2	m ³			
土間スラブコンクリート	Fc24+S S18	2	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			
普通合板型枠	地下軸部	41.5	m ²			
面木	面幅30mm程度	10.8	m			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D10	0.1	t			
異形棒鋼	SD295A D13	0.8	t			
鉄筋加工組立費	運搬費、スクラップ 控除共	1	式			
アンカーボルト	M-16 L=650 ダブルナット 据付費共	4	本			
止水板	塩ビ製 230x9程度	19.2	m			
<外部仕上げ>						
床コンクリート直均し 仕上げ	木ごと 直均し仕上げ	6.5	m ²			
防水モルタル塗り	土間・側面共	13	m ²			
連通管	φ40	1.2	m			

外構		外構		駐輪場		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<駐輪場>						
根切り	小規模土工 積込共	34.1	m ³			
床付け	つぼ, 布掘り	46.4	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	25	m ³			
残土処分	場内敷均し 場内小運搬共	9	m ³			
砂利地業	再生クッション	3.9	m ³			
捨てコンクリート	Fc18 S15	0.8	m ³			
基礎コンクリート	Fc24+S S18	6.6	m ³			
土間コンクリート	Fc21 S18	4.1	m ³			
コンクリート打設手間	人力打設	1	式			
普通合板型枠	基礎部	28.1	m ²			
普通合板型枠	土間部	5.8	m ²			
面木	面幅30mm程度	68.1	m			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D10 7.0kg程度 SD295A D13 144kg程度	1	式			
鉄筋加工組立費	運搬費、スクラップ 控除共	1	式			
<外部仕上げ>						
床コンクリート直均し 仕上げ	刷毛引き	56	m ²			
駐輪場	W1400×D2000×H2250 二箇所 組立費 運搬費含む	1	式			
<側溝設置>						

特記仕様書

【部分下請負通知書に関する事項】

受注者は、工事の一部について下請負させる場合は、部分下請負通知書を監督員に提出すること。なお、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付すること。

<名札の例>

【現場の管理に関する事項】

受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、氏名、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させること。

なお、作業者についても受注者名が分かるよう配慮すること。

写 真	主任・監理技術者
2cm×3cm 程度	氏 名 ○○ ○○
	工事名 ○○○○工事
	工 期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日
	会 社 ○○○○株式会社 印

注1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注2) 印は所属会社の社印とする。

【安全対策に関する事項】

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。

工事期間中の運搬車両及び重機等による騒音振動等については、周辺地域に及ぼす影響を最小限に食い止めると共に安全対策を講じること。また、施工に伴う公衆災害及び労働災害の防止に努めること。

なお、工事の施工中は出入口等に、誘導員を配置して事故防止に努めること。

【分離発注での安全対策追記】

本工事は他の工事と重複することから、安全対策や工程などの調整を図ることを目的とする安全対策協議会などを設置し、また設置されている場合は、これに積極的に参加し、安全対策をはじめ施工時期の調整など密接な調整を図り、各工事と協調をもって施工すること。

【墜落制止用器具着用に関する事項】

本工事は、墜落制止用器具着用を要件とし、安全対策に努めること。

【継続費支弁の2年度以上にわたる契約における前金払いに関する事項】

請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、各年度出来高予定額（請負代金に各年度出来高予定額の割合を乗じた額）の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いをするものとする。

なお、令和5年度の前払金については、前年度出来高予定額分を施工した後でなければ、請求できないものとする。

各年度出来高予定額の割合については、【部分払に関する事項】に示す。

【部分払に関する事項】

本工事の部分払は、津市工事請負契約約款第37条に基づき、その請求に応じてこれを行うが、部分払のできる回数は津市建設工事執行規則に基づき、1回とする。

支払額は、各年度支払い限度額（各年度出来高予定額の10分の9）の範囲内で工事出来高部分に相応する請負代金相当額の10分9以内の額とする。

なお、工事における各年度出来高予定額の割合は次のとおりとする。

令和3年度	0.0%程度
令和4年度	64.0%程度
令和5年度	36.0%程度

【三重県産業廃棄物税に関する事項】

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払い請求を行うこと。

なお、この期間を越えて請求することはできない。また、設計数量を越えて請求することはできない。

【工事实績情報の登録に関する事項】

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が50万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が土曜日、日曜日、祝日等を除き10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

【分離発注に関する事項】

本工事に係る建築工事および機械設備工事および電気設備工事および土木工事は分離発注となるため、各工事の受注者は相互に協力し工事全体の円滑な運営をはかること。

【火災保険に関する事項】

津市工事請負契約約款第57条に定める火災保険を次の条件により付し、その証書又はこれに代わるものを遅滞なく発注者に提示すること。

- | | | | |
|---|------|----------|-------------|
| 1 | 保険期間 | 開始日 | 工事着手日 |
| | | 終了日 | 工期に15日を加えた日 |
| 2 | 保険金額 | 請負代金額相当額 | |

【法定外の労災保険の付保】

受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（法定外の労災保険）に付さなければならない。また、津市工事請負契約約款第57条第3項の定めにより、その証書又はこれに代わるものを遅滞なく発注者に提示すること。

【現場パトロールに関する事項】

当工事は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等の現場パトロールを行うことがある。

【施工体制台帳】

受注者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請負金額に関わらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。

【社会保険等未加入対策】

適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

【法定福利費の負担】

法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請負人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用を努めること。

【完成報告書】

工事完成報告書の提出部数は3部とする。

【木材の調達目標】

本工事における木材の使用に当たっては、原則として地域産材（注1）を優先し、調達できない場合は県産材（注2）を使用するものとする。

なお、県産材については「三重の木」認証材を優先して使用するものとする。

注1 「地域産材」とは、津市内の森林から産出された木材で製材業者、津地区木材共同組合、津西部木材流通共同組合及び美杉木材共同組合の産地証明のあるものをいう。

また、集成材にあっても、構成する材は「地域産材」を優先使用したものであることとする。

注2 「県産材」とは、三重県内の森林から産出された木材とし、「三重の木」とは、三重県産の丸太を使用し、一定の基準に適合することを「三重の木」利用推進協議会により認証された木材製品をいう。

【鋼材及び建築設備等の調達に関する事項】

受注者の責めに帰すことができない社会情勢等による影響を起因とした事情により、最大限の努力をもってしても、鋼材（高力ボルト等の二次製品を含む。）及び建築設備等（新型コロナウイルス感染症の拡大を含む。）の調達に期間を要する場合は、受注者からの申出により工期延長の協議の対象とする。

【設計変更に関する事項】

設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）を参考とする。

（津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）

【建設発生土に関する事項】

受注者は、建設発生土を民有地へ処分する場合は土地所有者から「建設発生土受入承諾書」を得たうえで監督員に報告すること。なお、建設発生土を搬出する場合は「建設発生土搬出伝票」を発行し、搬出先、搬出土量等を把握すること。

【地中廃棄物に関する事項】

地中より出現する廃棄物は、地歴調査等の結果、旧建築物の解体工事での事業活動によって生じた産業廃棄物ではなく、過去に発生した集中豪雨によって生じた災害廃棄物を当該敷地に一時集積されたものの取り残しであり、「一般廃棄物」に該当することから、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」とする。）に基づき適正に処理すること。

なお、処理方法等について疑義がある場合は、法を所管する関係官署で協議を行うこと。

特記仕様書

特記事項	条件等及び内容
暴力団等の不当介入の排除等	<p>本市が締結する契約等からの暴力団、暴力団関係者、暴力団関係法人等(以下「暴力団等」という。)の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保することに関し、必要な事項を定める。</p> <p>なお、下記の内容における用語は、津市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成27年津市訓第76号)において使用する用語の例による。</p> <p>1 受注者等の義務</p> <p>(1) 本市の契約等の相手方及び下請負人等(以下「受注者等」という。)は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。</p> <p>(2) 受注者等は、暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。</p> <p>(3) 受注者等は、暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。</p> <p>(4) 受注者は、本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに本市に文書にて報告するとともに所轄の警察署に通報し捜査上必要な協力をするものとする。この場合において、捜査上必要な協力を行ったとき、受注者は速やかに本市に文書にてその内容を報告しなければならない。</p> <p>なお、受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等の措置が必要となったとき、受注者は本市に契約期間の延長等を求めることができる。</p> <p>2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置</p> <p>入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有しているときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準(平成21年4月8日施行)に基づく指名停止措置を講じるものとする。</p> <p>また、上記1の義務に違反した受注者等に対しても、同様に指名停止措置を講じるものとする。</p> <p>3 契約等の解除</p> <p>上記の暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。</p>
配慮依頼事項	<p>本契約を履行するにあたって、下記のことについて御配慮願います。</p> <p>なお、本事項は、受注者の自由な協力をお願いするものであり、受注者が下記の内容に応じなかった場合に、受注者に対して、不利益を課すものではありません。</p> <p>1 下請契約又は再委託(一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。)が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用すること。</p> <p>2 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用すること。</p> <p>3 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすること。</p> <p>4 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用すること。</p>
津市公契約条例	<p>本市が締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図ることに関し、必要な事項を定める。</p> <p>なお、下記の内容における用語は、津市公契約条例(津市条例第22号)(以下「条例」という。)において使用する用語の例による。</p> <p>1 受注者等の責務</p> <p>(1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。</p> <p>(2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。</p> <p>(3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。</p> <p>(4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。</p> <p>(5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。</p> <p>(6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者(以下「市長等」という。)が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。</p> <p>2 公契約の解除等</p> <p>市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。</p> <p>(1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。</p> <p>(2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。</p> <p>(3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。</p> <p>(4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。</p> <p>(5) 特定公契約にあっては、「労働環境の確保に係る誓約事項」に違反したとき。</p>

特記仕様書

特記事項	条件等及び内容
労働環境の確保に係る誓約事項	<p>津市公契約条例(以下「条例」という。)第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。</p> <p>また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令(次項において単に「関係法令」という。)を遵守すること。 2 関係法令に違反し、関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者(以下「市長等」という。)へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。 8 労働報酬下限額の試行について <ol style="list-style-type: none"> (1) 受注者は、試行対象契約(以下「対象契約」という。)の受注関係者(下請業者等)及び労働者(以下「対象労働者」という。)に、当該試行について周知を徹底するとともに、労働状況台帳を津市へ提出することについて、同意を得ること。 (2) 対象契約について、受注関係者から労働環境の確保に係る誓約書を提出させること。 (3) 対象労働者には労働報酬下限額以上の賃金を支払うこと。 (4) 津市が指定する期日までに対象契約に係る労働状況台帳を提出すること。 (5) 津市が行う労働報酬下限額の試行に係るアンケート調査について協力すること。 (6) 受注者は、受注関係者の労働環境の確保に係る誓約書(写)、労働状況台帳及びアンケート調査を取りまとめ、津市が指定する期日までに提出すること。 (7) (1)から(6)に掲げるもののほか、その他労働報酬下限額の試行に関して行う事務は、津市公契約条例労働報酬下限額試行運用マニュアルに基づき、適切に履行すること。 (8) 労働報酬下限額の試行に関する津市からの案内、通知及び指導には、誠実に対応すること。
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	<p>本工事における新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、下記のとおり徹底を図るものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い・うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件(以下「三つの密」という。)が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場等における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、元請業者をはじめ、下請業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。 3 工事等の関係者が「特定警戒都道府県」から作業等に従事する必要がある場合は、受発注者で協議を行い、感染拡大防止のための適切な対応をとること。 4 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。 5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。 6 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者(以下「感染者等」という。)であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講じること。 なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。 7 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更の必要があると認めるときは、津市工事請負契約約款第19条(設計図書の変更)の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとする。この場合において必要があると認められるときは、工期若しくは請負代金の変更の対象とするものとする。

令和3年度津市労働報酬下限額

労働報酬下限額	902円
---------	------

津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書

1 趣旨

津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。

しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。

このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。

2 発注者及び受注者の責務

- (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。
- (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。

3 定義

- (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合等など利害関係者の代表者を含むものとする。
- (2) 「不当要求行為等」とは、
 - ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為
 - イ 暴力行為、脅迫行為
 - ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為
 - エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為
 - オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為
 - カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為
- (3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。

4 工事説明の進め方

- (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。
- (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関することを、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。
- (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。
- (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。

- (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。
- (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事实施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。

5 不当要求行為等

- (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等(津市事務分掌規則(平成18年1月1日規則第6号)第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。)に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。
- (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。
- (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。

ワンデーレスポンス実施に関する特記仕様書

1. この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。
ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
なお、質問・協議等にあたっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。
2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

基礎ぐい工事に関する特記仕様書

1 全般

既製杭工については、当基礎ぐい工事に関する特記仕様書によるものとする。
 なお、当基礎ぐい工事に関する特記仕様書は、他の特記仕様書より優先するものとする。

2 適用すべき諸基準

受注者は、下記の基準を適用する。

国土交通省告示第四百六十八号 基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置（平成28年3月4日）

3 施工計画書、施工記録

受注者は、既製杭の施工前に「基礎杭施工計画書」を監督員に提出しなければならない。施工計画書には以下の項目について詳細に記載し、施工にあたりその内容を実に履行するとともに、杭全数の施工記録を整備および保管しなければならない。

- (1) 納入する杭、その他使用する材料の規格・品質確認の方法
- (2) 材料の現地搬入時における規格・品質・納入数量の確認方法
- (3) 工法の名称、概要、使用材料、適合条件、杭の支持力算定式を示した関連書類
- (4) 地盤の概要や設計支持力に関する事項
- (5) 施工の概要、手順、及び施工順序に関する事項
- (6) 使用する機械設備に関する事項、および当該機械の性能の証明に関する事項
- (7) 機械設備等の配置平面図、側面図
- (8) 各種注入材料の品質、名称、配合量等の配合計画に関する事項、および出典根拠
- (9) 各種注入液の配合設備及び練混ぜ方法に関する事項
- (10) 試験杭等の目的、場所、時期、及び試験結果の反映方法等に関する事項
- (11) 杭打設における施工管理方法に関する事項
 掘削速度や引上げ速度、杭芯ずれ、鉛直度、杭体の保持、杭頭高さ（打止め高さ）、所定深度への到達、球根拡大、杭1本ごとの各種注入液（根固め液、杭周固定液）の注入量の確認方法（流量計等）、杭の沈設、支持層管理（オーガ駆動）電流値の確認方法、その他、各段階における必要な施工管理項目
- (12) 継手の施工管理方法に関する事項
 溶接前の溶接面の有害物除去状況、溶接時の天候、その他必要な施工管理項目
- (13) 各種注入液（根固め液、杭周固定液）の配合や圧縮強度試験等、品質を証明するために必要な試験方法及び頻度等に関する事項
- (14) 施工及び施工管理に関して、技術者及びその他作業人員の配置、役割、チェック体制及び責任の所在
- (15) 取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法
- (16) 上記のほか必要な事項

※（8）、（9）、（11）から（13）の項目については、各現場に応じて適宜修正を行うこと。

4 不可視部の写真撮影

杭の施工にあたっては、不可視部の確認ができるよう写真管理を適切に行うこと。
 近景、遠景共に、杭やビット、溶接箇所、黒板等に杭番号、その他必要な情報を入れて撮影すること。

5 試験杭

試験杭は、以下のことについて調査・確認を行うこと。

- (1) 地盤に適合した杭長の確認
- (2) 支持層の位置（深度）と土質標本との確認
- (3) 適切な施工機械の確認
- (4) 施工時間の調査による工程の確認
- (5) 各種注入液の適否の調査
- (6) 溶接継ぎ手のパス数や外観検査
- (7) 各作業項目における電流値の変化、土質データとの電流値の相関関係
- (8) 杭の沈設精度の管理方法

※ (5) から (8) の項目については、各現場に応じて適宜修正を行うこと。

6 支持層への到達確認

受注者は、杭全数について支持層への到達を確認すること。なお、確認にあたっては、ボーリングデータ等の土質調査資料、試験杭における各土質とオーガ掘削時の電流値の比較、隣接する施工済み杭の施工記録等により総合的に判断する。

支持層到達の判断が困難となった場合は、監督員と協議すること。

7 施工記録の提出

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

8 根拠資料の保管

共通仕様書、特記仕様書、及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（野帳、手簿、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。